

企画展《さわってみる歴史》第3回

『不思議の国のミュージアム —学内発掘10年の歩み—』展 開催中!

当資料館が、昭和54年に学内の遺跡調査を行なうようになってから10年が過ぎました。現在、これまでの当館の発掘の成果を一堂に展示しています。学内のどのあたりから、どんなものが見つかったのか、このチャンスに、ぜひ手に取ってご覧下さい。

展示は旧石器・縄文、弥生、古墳時代の三部門に分かれています。
奈良時代から江戸時代の調査の成果は、今秋、展示を予定しています。

まだ、おいでになっていない方のために、今回の展示のみどころを少しご紹介しましょう。

★ 期間 平成元年9月14日まで

★ 時間 8:30~17:00 (土曜12:30まで、日曜休館)

★ 場所 埋蔵文化財資料館 展示室



■■■■ 旧石器・縄文時代 ■■■■

当時の自然環境、人々の暮らしぶりを水彩画で描写してみました。

猟をする男、木の実を集める女、また、家族団らんの食事でしょうか、旧石器時代の家のそばではシカの肉を焼く風景などなど、当時の生活の一コマを時間を止めて見ることができます。両時代の違いをよく見比べて頂きたいと思います。

展示品は土器と石器で、旧石器時代と縄文時代の石器の形・種類・使われ方の違いなども理解できます。

縄文時代の落とし穴も写真パネルで展示しました。



目	次
・『不思議の国のミュージアム—学内発掘10年の歩み—』展 紹介 ……(1・2)	・Q & A 茶焼きの土器で水はもらえないのか? ……(4)
・接点 6…【形質人類学と考古学 -人骨-】…(3)	・シリーズ 遺物からの「発見!!!」… 須恵器と土師器 ……(5)
	・業務報告 ……(6)

■■■■ 弥生時代 ■■■■



竪穴住居を部分的に復原して、住居内での暮らしぶりが理解できるようにしています。住居内で日常使われた土器、石器は、吉田構内から見つかったものをそのまま用い、臨場感が味わえます。

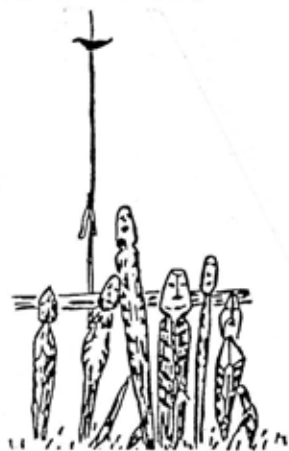
展示品は壺、甕などの土器、石鎌、石斧、石庖丁などの石器をはじめ、紡織具や装飾品などです。

また、大学会館周辺で見つかった、種籾や堅果類の貯蔵のための施設（貯蔵穴）は、写真パネルを作成して解説しました。

■■■■ 古墳時代 ■■■■

吉田、亀山、光の各構内で、生活の跡や人々が使っていた道具などが見つかっています。縄文、弥生時代の土器との違いを見て、触って確かめて下さい。また、塩作りの土器は模型を作成し、その使い方を示しました。

農耕用の鋤や鎌なども、豊穡を祈るおまつりに使用された鳥をかたどった木製品とともに展示しています。



■■■■ 山口大学のキャンパス ■■■■

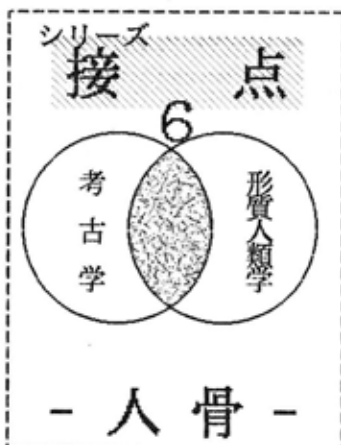
- 吉田構内 … 事務局、人文・教育・経済・理・農の各学部、教養部、教育学部附属養護学校（山口市大学吉田）
- 小串構内 … 医学部・同附属病院・医療技術短期大学部（宇部市大字小串）
- 常盤構内 … 工学部・工業短期大学部（宇部市大字常盤台）
- 亀山構内 … 教育学部附属幼稚園、同山口小・中学校（山口市白石）
- 光 構内 … 教育学部附属光小・中学校（光市大字室積浦）

***** ご自宅に遺跡に関する古い時代のものが眠っていませんか？ *****

* 当館では自宅で保管されていたり、近所で採集された土器などを資料化し、その
* 蓄積、充実を図ってゆきたいと考えています。今使っていない古そうな器、何か
* いわれがありそうなもの、ちょっと気になる—これはただの石・木あるいは鉄と
* は思えない！—ものなどお持ちでしたら、ぜひ、当館まで御一報ください。 *

昨年の企画展のアンケートに、人骨はないのか？、時代によってヒトはどう違うのか？という質問がありました。そこで、今回のテーマは形質人類学から明らかにされた過去の人類—人骨—をとりあげてみました。

古人骨からは、当時の人々の背丈や顔つき、かかった病気や死因、家族構成や人口が推定できます。



身長の推定

身長身長の推定は、主に脚の骨（大腿骨や脛骨）の長さから割り出します。ただし、身長に対するこれらの骨の比は民族による違いだけでなく、食料事情・生活様式の相違から時代・地域差が出るため、多くの研究がなされています。

関東地方での平均身長は、縄文時代から古墳時代にかけて伸び、中世から江戸時代にかけては逆に低くなり、明治以降はまた急激に伸びます。北部九州から山口県西部では、朝鮮半島から渡ってきた人々の影響で、弥生時代に急に平均身長が伸びる特色があります。

関東地方の平均身長の時代的変化

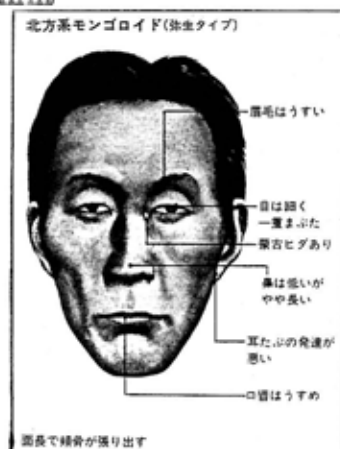
	縄文時代	古墳時代	鎌倉時代	室町時代	江戸時代	現代
男性	157.7cm	163.1cm	159.0cm	156.8cm	156.5cm	166.8cm
女性	149.2cm	144.9cm	144.9cm	146.6cm	144.8cm	156.5cm

（『考古学ジャーナル』No.197 「骨からみた日本人身長の移り変わり」より）

顔つき・体つきの主な特徴



《縄文人》
 眉がでっばる。彫りが深い。
 《北部九州の弥生人》
 背が高い（男性平均162cm程度）
 《中世～江戸庶民》
 出っ歯。丸顔。鼻が低い。
 《江戸時代・貴族》
 低身長。大頭。瓜ざね顔。
 鼻が高い。



（挿図：週間朝日百科 日本の歴史35 原始・古代②『原ニホン人と列島の自然』より）

【次号は…『環境学と考古学 - プラントオパール - 』】

Q & A 素焼きの土器で水はもらわないのか？

現在、私達が使っている焼物の食器類は、主に磁器です。うわぐすりがかかり、表面はつるつるして、水も漏りません。萩焼など陶器では、うわぐすりがかかっているとしてもしばらくは水がしみでてきます。では、ずっと昔の素焼きの土器はどうだったのでしょうか。

実験は北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室の佐藤浩司さんがされたものです。

◇実験に使った土器の種類◇

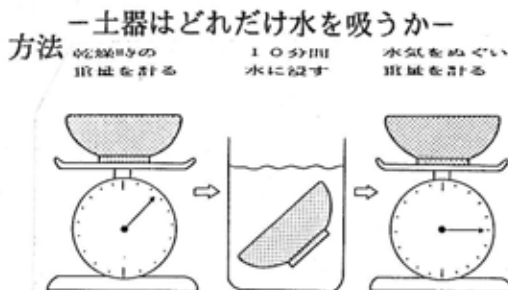
須恵器：比較的硬い。土はあまり細くない。

土師器：柔らかい。土の目は細かいもの、粗いものさまざま。

黒色土器：土師器の内面をいぶし炭素を吸着させ、気密性をはかる。

※近世磁器：(参考資料)釉薬がかかる。今のお茶碗と同じ。硬い。

実験 1 《吸水率》



結果・同じ素材、同じ形でもまちまち。
素材間の差も少なく、個体差大。
・表面をなでつけたり、いぶしたり
すると、やや吸水率は落ちる。

実験 2 《減水率》



結果・最初の1時間にどっとへり(10~60%)後は1時間に5%位。
・吸水率ゼロの陶磁器でも8時間で10~20%位の自然蒸発。

実験結果からは、種類に関わらず、素焼きの土器は、充分液体を保持できるとは言えません。しかし、土器の使用の際に、水に浸してから使えば器に内容物が吸収される量は減るでしょう。1回の食事にはこれらの土器でもなんとか用をなしていたのではないのでしょうか。

【引用文献】 佐藤浩司「吸水率と減水率」『研究紀要—第2号—』(財)北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室 (1988)

//// [資料紹介コーナー] //// 遺物からの「発見!!」 ////

土師器と須恵器

約1,700年前。すでに現代と変わらない器がありました。

茶碗など器は、現在多くが磁器（石の粉末を原料）ですが、1,700年前にはじまる古墳時代は粘土を焼いて作った土の器、それに木製のものもありました。土の器は、肌色と・ねずみ色のものにと大別でき、これを考古学では、前者を土師器、後者を須恵器と呼びます。土師器は弥生時代の土器と同じ手法で作られ、古墳時代の最初から使われたのに対し、須恵器は朝鮮半島起源で、古墳時代のなか頃、日本にもたらされました。丁寧な作りで、土師器にはない形も見られます。



土師器
古墳時代の土器

須恵器



須恵器は規格性に富み、耐久性に優れています。それはロクロで作られ、専用の施設(窯)で1,100度近い高温で焼かれているからです。須恵器の生産は、粘土の質、窯の構造・火の加減など全般に精通している専門の工人が居て、専売特許の形で生産していました。

土師器の中には須恵器独特の形を真似したものがあります。土師器を作る人々にとって、須恵器は大変魅力的だったのでしょう。しかし、形は真似できても須恵器には成り得なかったのです。構内でも須恵器を模倣した土師器（約1,400年前）が出土しています。須恵器と土師器の違いと併せて当資料館では是非ご覧下さい。

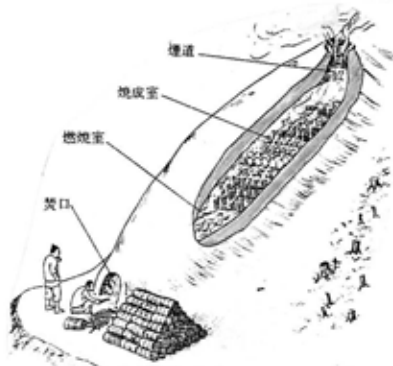


須恵器の製作

ロクロ

『技術の考古学』所収

* 窯……須恵器生産に使われた窯は、あなぐら管窯と呼ばれる半地下式のもので、山の斜面に築かれています。長さ10m弱、幅1.5m前後の長細いものです。山の斜面にあることで、下から吹き上げる風の勢いを利用し、火力を強めることができます。



管窯

『技術の考古学』所収

業務報告 【1989年4月～6月】

★調査……試掘調査1件、立会調査7件を、下記の学内工事に伴い実施。

1. 樫野寮ボイラー設備改修（4月3日）……顕著な知見なし。
2. 吉田 野球場防球ネット取設路（4月3・4日）……遺物包含層確認。
3. 吉田 防火水槽配管管理設（4月4・5日）……遺物包含層確認。
4. 吉田寮ボイラー設備改修（4月6日）……顕著な知見なし。
5. 吉田 点字ブロック取設（4月10～12日）……溝、遺物包含層確認。
6. 吉田 給水管改修（4月20日）……遺構（性格不明）確認。
7. 吉田 学生会館前庭記念植樹（6月8日）……顕著な知見なし。
8. 小串 医学部MRI棟新営（6月26日～）……【調査中】



★埋蔵文化財資料館運営委員会（6月6日）

★外部からの図書寄贈【4月～6月】

- 【北海道大学埋蔵文化財調査室】
…『北大構内の遺跡 7 昭和62・63年度』
- 【名古屋博物館】…『名古屋博物館たより67,68』
- 【名古屋市見附台考古資料館】…『見附台教室'88』
- 『整三蔵通遺跡』『白鳥古墳Ⅱ』『神ノ蔵東部土地区画整理内古竊跡発掘調査報告』『高蔵遺跡第3次発掘調査報告書』『城と町のデザイン 戦国～江戸の考古学』
- 【豊田市郷土資料館】…『猿投神社近世資料 続』『猿投神社近世資料 祭祀絵図』
- 【富山県埋蔵文化財センター】…『埋文とやま 第26号』『三谷遺跡・一ツ山古墳群』『富山県埋蔵文化財センター年報 昭和63年度』『小杉流通業務団地内遺跡群 第9次緊急発掘調査』『東海北陸自動車道遺跡試掘調査報告一福光町編一』『北陸自動車道遺跡調査報告一朝日町編4一』
- 【同志社大学考古学研究室・和歌山市教育委員会】
…『木ノ本釜山(木ノ本Ⅲ)遺跡』
- 【京都大学考古学研究室】…『椿井大塚山古墳と三角縁神獸鏡』
- 【京都大学埋蔵文化財研究センター】…『京都大学構内遺跡調査研究年報 1986年度』
- 【京都府埋蔵文化財調査研究センター】…『京都府埋蔵文化財情報 第31号』

凡例：【発行所（個人寄贈者）】…『書名』

- 【関西大学考古学研究室】…『祇園精舎』
- 【八尾市文化財調査研究会】…『八尾市文化財調査研究会年報 昭和62年度』
- 【神戸市立博物館】…『神戸市立博物館 研究紀要第5号』
- 『神戸市立博物館年報 5』
- 【香川県埋蔵文化財研究会】…『香川県埋蔵文化財調査年報』（山本英之氏）
- 【高松市教育委員会】…『南山浦古墳群調査報告書』（山本英之氏）『弘福寺領讃岐国山田郡田園比定地域調査 概報Ⅰ』（山本英之氏）
- 【愛媛大学埋蔵文化財調査室】…『鷹子・樽味遺跡の調査』『三間高校校庭遺跡の調査』
- 【日本はきもの博物館・友の会】…『日本はきもの博物館だより 34』
- 【梅光女学院大学】…『地域文化研究所通信 8・9』
- 【山口県教育委員会】…『山口県文化財地図（改訂版）』『簀織と用具』
- 【山口市教育委員会】…『大内氏築山跡 Ⅲ』『周防錦織可遺跡』『歴史の道「萩往還」保存整備事業報告書』
- 【福岡市立歴史資料館】…『福岡市立歴史資料館 年報』『福岡市立歴史資料館 研究報告 第13集』
- 【佐佐木史記の丘歴史民俗資料館】…『大分県宇佐風土記の丘 歴史民俗資料館ニュース 18・19』
- 【三光村教育委員会】…『三光村の遺跡 第1集』
- 【串間市教育委員会】…『開尾遺跡・留ヶ字戸遺跡』
- 【鹿児島大学埋蔵文化財調査室】…『鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 IV 昭和63年度』

★資料貸出記録

* 図書 6件（学生2）：返却5

* 本冊子は、各講座、教官に一部ずつ配布していますが、ぜひ学生個人でもお持ちい
* たきたいと考えています。当館で配布しておりますので、ご希望の節は気軽にこ来
* 館下さい。また、各学部事務室にも置いてありますので、ご自由にお取り下さい。

編 集 余 話

本冊子も創刊まる一年がたち、色つきでお届けできるようになりました。

今後も皆さんの疑問に答えられるような内容にこころがけていきたいと思ひます。ちょっとしたこと大歓迎です。是非、お聞かせください。

山口大学 埋蔵文化財資料館だより

No.6...【1989年夏の号】.....

発行 7月13日

編集 山口大学埋蔵文化財資料館

〒753 山口市大字吉田1677-1

☎代 (0839)22-6111 内線299

利用案内(入館無料)

8:30～17:00(土曜 12:30)

日・祝 休館

